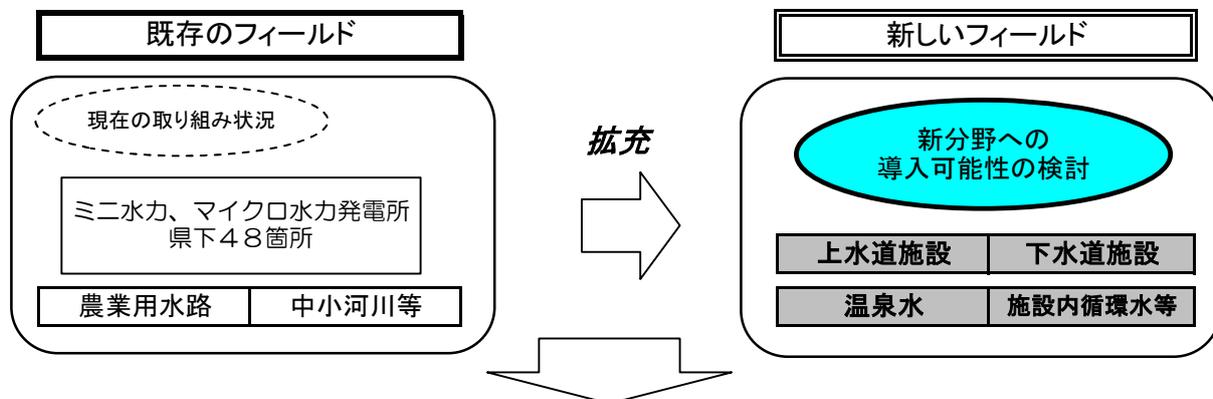


長野県における小水力発電の普及促進について

◇普及促進イメージ

小水力発電の導入の可能性のある場所は、中小河川、農業用水路をはじめ多岐にわたるが、上下水道施設や温泉水等の新たな分野への活用を検討すると共に、積極的な情報発信により県下へ一層の普及促進を図る。



新たな地域、新たな分野の掘り起こし、小水力発電の県内への一層の普及促進！

◇事業概要

(1) 長野県小水力活用検討会	(2) 導入可能性調査や(3)実証調査の実施方針、実施箇所の選定、実施内容(結果)の検証などを行う。併せて、小水力発電に係る情報交換を行う。
(2) 導入可能性調査	県下全域における、上下水道施設、温泉施設、小河川等について、既存資料を活用した文献調査やアンケート等により、導入に適した箇所のデータ収集を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・管路や落差の状況 ・地形及び水利の状況 ・導入の可能性と予想される発電量 など
(3) 実証調査	市町村への公募等により収集したデータから、実現可能性や普及効果の高いモデル的箇所を選定し、水力発電設備を実際に設置し、データ取得や電力の利活用方法、維持管理に関する課題の把握等を行う。
(4) 地域研究会開催(シンポジウム)	導入可能性調査や実証調査により得られた結果、他の先進的取組や諸課題等について広く意見交換を行うため、関係者に留まらず県民や地域住民に開かれた研究会を開催し、県内全域への小水力発電の普及促進を図る。

地域、事業者、関係行政機関による連携の強化、ネットワークの構築等

施設整備

関係部局の連携による普及啓発と事業化へ向けた支援

◎導入箇所、電力使用の目的に応じた補助事業の選択、活用を検討

◎施設整備等の事業実施